

# 第52回 北九州市都市計画審議会

## (審議概要)

(1) 会議の日時・場所 平成24年11月19日(月) 10:00～  
 ホテルクラウンパレス小倉 2階

(2) 出席した委員および臨時委員の氏名

|    | 氏名     | 役職                                  | 出欠 |
|----|--------|-------------------------------------|----|
| 1  | 赤川 貴雄  | 北九州市立大学国際環境工学部建築デザイン学科 准教授          |    |
| 2  | 池田 サエ子 | 北九州商工会議所女性会 副会長                     |    |
| 3  | 伊藤 解子  | 北九州市立大学都市政策研究所 教授                   |    |
| 4  | 伊藤 直子  | 西南女学院大学保健福祉学部 教授                    |    |
| 5  | 乙間 末廣  | 北九州市立大学国際環境工学部環境生命工学科 教授            | ×  |
| 6  | 籠田 淳子  | 福岡県建築士会北九州支部 レディース部会長               | ×  |
| 7  | 齋藤 貞之  | 九州国際大学経済学部 特任教授                     |    |
| 8  | 寺町 賢一  | 九州工業大学工学部建設社会工学科 准教授                |    |
| 9  | 中村 雄美子 | NPO法人北九州子育て・親育ちインフォメーションセンター-Bee 代表 |    |
| 10 | 原田 美紀  | はらだ法律事務所 弁護士                        | ×  |
| 11 | 久野 善隆  | 北九州市西部農業委員会 会長                      | ×  |
| 12 | 福山 節子  | 福岡県不動産鑑定士協会北九州支部 不動産鑑定士             |    |
| 13 | 横山 麻季子 | 北九州市立大学法学部 准教授                      |    |
| 14 | 佐々木 健五 | 北九州市議会議員 議長(自由民主党)                  | ×  |
| 15 | 西 豊磨   | 北九州市議会議員 副議長(公明党)                   |    |
| 16 | 香月 耕治  | 北九州市議会議員 自由民主党                      |    |
| 17 | 松井 克演  | 北九州市議会議員 ハートフル北九州                   |    |
| 18 | 桂 茂実   | 北九州市議会議員 公明党                        |    |
| 19 | 石田 康高  | 北九州市議会議員 日本共産党                      |    |
| 20 | 井口 典之  | 福岡県警察本部 交通部長                        | 代  |
| 21 | 大庭 卓朗  | 北九州市自治会総連合会 副会長                     |    |
| 22 | 松村 佐和子 | 北九州市女性団体連絡会議 会長                     |    |

は出席、×が欠席、代は代理出席を表す。

(3) 議事要旨

別紙のとおり

## 議題

### 付議事項

- (1) 議題第238号 北九州都市計画道路の変更について  
曾根苅田線 外1線 【小倉南区】
- (2) 議題第239号 北九州都市計画駐車場の変更について  
下曾根駅北口自転車駐車場 【小倉南区】
- (3) 議題第240号 北九州都市計画公園の変更について  
長行2号公園 【小倉南区】
- (4) 議題第241号 北九州都市計画地区計画の変更について  
西折尾町地区 【八幡西区】
- (5) 議題第242号 北九州都市計画地区計画の変更について  
青葉台サイエンスパーク 【若松区】
- (6) 議題第243号 北九州都市計画地区計画の変更について  
上葛原東地区 【小倉南区】

### 報告事項

- (7) 高齢者の居住の安定確保に関する法律の一部改正に伴う北九州都市計画地区計画の修正について  
曾根地区 【小倉南区】

第 52 回北九州市都市計画審議会 議事要旨  
(主な質問・意見と回答)

議題第 238 号 北九州都市計画道路の変更について

(曾根苅田線(下曾根駅北口駅前広場)、下曾根駅前線)

議題第 239 号 北九州都市計画駐車場の変更について

(下曾根駅北口自転車駐車場)

「下曾根駅前線」について

意見書

1. 計画の内容を事前に知らされておらず、関係者を無視した計画である。

本市の考え

1. 平成 16 年の北九州空港移転跡地利用まちづくり構想、平成 20 年の地元自治会や商店会などによる下曾根駅周辺のまちづくり勉強会など、計画の初期の段階で道路の必要性が議論され、その内容を計画案に反映させてきた。ただし、この段階では、都市施設としての必要性を検討し、計画案を作成するため、一般に土地の所有状況や区画などは配慮しておらず、このため、個別地権者へのお知らせは行っていない。地権者へのお知らせは、都市計画案について広く地域住民や地権者の方々への意見を聞くための地元説明会(平成 23 年 6 月)が最初である。

意見書

2. 地域の人たちが日常行きかう、にぎやかな通りとなるような方策が示されていない。

本市の考え

2. 今回の計画は、面整備ではないため、この計画自体ににぎわいを創出するような方策は示していないが、空港跡地の土地利用の進展や当該道路の整備に伴い、下曾根駅からの人の流れが創出されるものと考えている。

意見書

3. 下曾根駅の利用者がほぼ減少傾向にあるなかで、予測に対する整合性やにぎわいのある通りとする見通しの根拠を示す責任がある。

本市の考え

3. 下曾根駅の乗降客数は、この 5 年間で約 1 万 2,000 人ということで、横ばいで推移している。将来の乗降客数は、人口減少や空港跡地から鉄道を利用する発生交通量等を考慮して、約 1 万 1,600 人と、概ね維持していくものと考えている。そのような中、空港移転跡地では新たな歩行者も見られ、また、道路が整備されれば、にぎわいは出てくるものと考えている。

## 意見書

4. 道路幅は16mありきで計画しているのではないか。

### 本市の考え

4. 幅員は、車道2車線と歩行者、自転車を安全に通行させるために必要な部分を機能として盛り込み、16mと決定している。当初、歩道を広く取って自転車も歩道を通すという計画で地元説明会をしていたが、警察等の考え方に変更があり、自転車は、基本的に車道を通行するように変更をしている。また、良好な歩道空間を確保するための施設として植樹帯を計画していたが、植樹柵へ変更している。これらを含めて、トータル16mの幅員が必要だと考えている。

## 質問

5. 今回駐輪場が予定されているところに曽根交番という交番があるが、道路整備にあたり、現行の交番の移転等をどう考えるか。

### 回答

5. 交番については、地域の治安を守り、住民にとって非常に重要な施設だと考えている。今回の計画では、駅前広場からの移転を考えていただかないといけない状況である。都市計画決定の後、具体的に事業を行うのは建設局街路課、移転補償については用地課が担当になる。これまでの交番移転の事例を参考に、県警とも調整を行いながら進めていきたい。

### 要望・意見

6. 事業の実施にあたっては、部局ごとに対応をしなければならない不便さがあるので、なるべく集約的な形で対応できるようにしていただきたい。

### 要望・意見

7. 下曽根駅前線の終点が重要な交通の結節点となり、かつ旧空港跡地の新しい顔のようなものになるため、デザインに配慮した交差点の整備や既存歩道との意匠的な整合性等を今後検討していただきたい。

## 「下曽根駅北口自転車駐輪場」について

### 質問

8. 今回の駐輪場の都市計画決定において、交番の移転先として適当な場所がなければ、そこでまた都市計画を見直すことは可能か。

### 回答

8. 都市計画の変更は余り多くするようなものではなく、基本的にはそういったことをすることはないと考えている。

**議題第 240 号 北九州都市計画公園の変更について(長行 2 号公園)**

質問

9. 公園と今回の開発地域の境界が一部水路となっているが、この水路で水量をきちんと流すことができるのか。また、中には鋭角に曲がっているところがあるが、大丈夫か。

回答

9. 排水路を計画する場合には、開発事業者が、開発地における降雨量や流出量を計算し、それに対応するよう水路の整備を行うこととなっている。また、鋭角に曲がったところには、少し大き目の枅をつくり流速を落とす等の対策をとるよう、開発事業者に伝える。

質問

10. 公園の形状について、鋭角的なところが存在することにより、公園の安全上、いわゆる隠れ場になるということで危険があるのではないか。

回答

10. 公園に県道の方から入り、正面右の辺りが少し隠れたような形になる。公園等で、例えば樹木が密生してしまうと、視覚が届かず犯罪の温床になるということが社会的に問題になっているので、整備にあたっては、広場的なものをできるだけ広くとり、とれないところには高木や中木などを植えずに、例えば花壇のように死角にならないような整備をしたいと考えている。

**議題第 241 号 北九州都市計画地区計画の変更について(西折尾町地区)**

質問・意見 なし

**議題第 242 号 北九州都市計画地区計画の変更について(青葉台サイエンスパーク)**

質問

11. 関係住民組織と住民への説明とで同意されたということだが、どの程度、関係住民に説明し、同意形成ができているのか。

回答

11. 4年前から地域の代表者と話を始めて、どのようなまちづくりをしたらいいかということで協議を重ねてきた。そういった中で、地域の代表者からも皆さんの意見を聞きたいという申し出があり、地域の市政だよりと一緒に、都市計画の変更案を皆さんに配布して、その意見を自治会でまとめていただいた。昨年も3回ほど協議をさせていただき、基本的に青葉台

地区を補完する施設、そして地域の意見が反映されているということで、今回の都市計画審議会に諮るスケジュールで地区計画の変更を行うことで合意をいただいている。

質問

12. 市がサイエンスパークの土地を取得したのはいつか。また、現在までの土地利用状況についてはどうなっているか。

回答

12. 平成2年度に用地を取得している。また、土地利用状況は、3.1haが分譲済み、8.8haが未利用となっている。

要望・意見

13. 分譲開始が平成5年であり、取得をした年から22年間、土地利用が一部に限られたという状況である。土地を取得して分譲すればいつでも売れるというふうな時代でもなく、このような土地が北九州市内にはたくさんあるので、今後の教訓にしないといけない。

質問

14. 研究開発・生活関連施設地区と北側の幹線道路とでは、高低差がかなりある。現状で、道路側からの乗り入れができなければ、一体この土地ではどこからアクセスするのか。

回答

14. 現在、生活関連施設地区の北側には地区内道路が整備されており、また、背後の住宅地からも出入りができるようになっている。研究開発・生活関連施設地区については、北側の道路からアクセスするために敷地の切り下げ等の造成も考えられるが、開発にあたっては、事業者と協議をしたいと考えている。

**議題第243号 北九州都市計画地区計画の変更について(上葛原東地区)**

要望

15. 高齢者社会になり高齢者が増えるということで、福祉施設がここに入った場合には交通対策、安全対策上の配慮をぜひともお願いしたい。

**報告事項 高齢者の居住の安定確保に関する法律の一部改正に伴う北九州都市計画地区計画の修正について**

質問・意見 なし